

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
放課後等デイサービス 暖母		R8年 3月 31日					
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		9	・来所人数に対しスペースが足りない、個別対応が必要な際の個別空間が足りない状況が必要に応じロールカーテンでの空間分け、グループ別での活動、個室の使用をするなど工夫している。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	4	・職員の体調や支援の状況で緊急対応の見通しをたて、滞りなく支援ができる様整えている ・専門性をもとに担当をつけ支援の方向性を統一している	・個別対応の手順書など引継ぎがスムーズに行える様構造化を積極的に行う	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9		・生活空間での構造化は当日の利用児毎（個別に必要な調整・導線の確保）に変更し調整している ・建物の構造上「エレベーターの設置」「バリアフリー」にすることが難しい為、身体機能面の介入を統一している ・階段に関しては「階段を使う機会が日常的にある」として運動面の向上や身辺自立（カバンの持ち方を試行錯誤する等）に繋がっているため評価を保護者へフィードバックしている。	・今後も子どもたちにとって活動に参加、個別課題に取り組みやすい環境を模索していく ・今後も構造化改善の難しい「階段」に関しては安全面を第一に支援を統一していく	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。		9		・毎日の清掃、毎日の整頓、定期的な不要物の確認と撤去等実施している ・子どもたちが安全に活動ができる様、片づけの支援やそのための明確な片づけ場所、片づけやすい環境の設定を行っている		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9		・完全にフリーな個室を確保（別箇所）し必要に応じた対応を実施している。その際利用前後の状態、車内での状態を把握し事前の見通しと準備につなげている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		・平日は毎日のMTでのカンファ、土曜・祝日は次日に振り返りを行っている ・専門性での担当をつけ定期的な支援のモニタリングと計画の見直し、その後全体への共有を必須とした流れを構築している ・記録のICT化実施		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・評価を集計後全体での検討Mtを実施し、具体的な対策や方法を話し合っている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・評価を集計後全体での検討Mtを実施し、具体的な対策や方法を話し合っている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9	・第三者委員会の設置に至っていない	・会社より現状設置をしない返答を受けている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・公表している	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・保護者共有のもと統一したアセスメントツールを活用し、客観的な分析を行っている。また連絡帳や引継ぎ時、面談時、担当者会議での保護者のニーズをもとに「ニーズ表」を作成し計画につなげている	・定期的な面談の際に、モニタリング表を提示しながら評価のフィードバックと次月からの計画の説明を行う。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・専門性での担当をつけ定期的な支援のモニタリングと計画の見直し、その後全体への共有を徹底している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・毎日の記録の様式を「計画に沿った支援」につながる様作成している	・職員の記録を確認しながら修正を繰り返しより有効なものに変更している
適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		・個別に対応 →5領域20項目の調査の把握 →学校状況の把握 →ポータルでのアセスメント →毎日の個別記録 ・行動障害対象児の行動記録	・目的のある支援を行うために必要な記録を適宜検討し活用する
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・国が放課後等デイサービスの役割として何を求めているのかを把握するために「CDS主催の研修」に参加し、ガイドラインの意図を理解することに努めている ・放課後等デイサービスの基本配置と専門的加配の意味を理解し、項目ごとに特化した専門士を設定している	・個別支援計画を通して各専門分野のスタッフがより専門性に特化した支援ができる様、ブラッシュアップしていく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・毎年、毎月、毎回、チームで検討している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・意図して同じプログラムを繰り返す中で、一人ひとりの個別目標は異なることを理解し必要な準備をし支援をしている。 ・子どもたち自身が見通しをもって取り組むことで、「繰り返し」+「ステップアップ」を目的とした内容にこだわっている。	・職員一人一人がより具体的な目的を自分で立案できる環境を模索していく
適	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			・基本的に個別活動、集団活動のプログラムが組まれているが、個別支援計画にすべてを記載していないため今後計画に盛り込んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・毎日リーダーを設定し日案を作成している。 ・平日は毎日のMT →前日の振り返りと評価 ※前日のリーダーより報告 ※サポートからの意見の共有 ※児発より支援の見直しと評価 →当日のリーダーより日案の共有 ※支援の流れと目的、配慮点の確認	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・土曜・祝日・外出やイベント等の際は事前の日案共有を行っている	

切 な 支 援 の 提 供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の個別ケース記録 ・ 行動障害対象児の行動記録 ・ ICT化の実施 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ①自立支援、日常生活の充実のための活動 ②創作活動 ③地域交流の機会の提供 ④余暇の提供 <p>着替えや身だしなみ、手洗い・歯磨きなどの日常生活の動作、持ち物やスケジュールの管理、片付けなどの生活スキル、社会での自己実現や安定した生活を築く為の社会性やコミュニケーション力を獲得できる様支援を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自事業所でできることは限られていることを認識し、家庭との連携で可能なこと、併用事業所との連携で可能になることを判断しながら、こどもと家庭の将来につながる支援を実践していく
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ 口頭での選択、視覚提示での選択、交渉できる環境を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ やりとりに必要なツールを常に模索し続ける
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ 児発管、担当職員が参加している 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援員を中心に都度必要な関係機関と連携し担当者会議や書面での情報共有を行っている 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校迎えでの引継ぎ時、一斉メールでの情報把握 ・ 基本保護者を中心とした情報共有 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約時期にもよるが、保護者の希望、もしくは必要だと判断した場合には事業所からの提案で実施している 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の希望、もしくは事業所からの打診により相談支援を中心に実施している 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経験のある会社内の人材による研修や助言は日常的に受ける事が出来ている ・ 事業所でケースに纏わる論文や文献を調べ様々な視点で検討できる様取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在アドバイザーをお願いしているが実施には至っていない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直接的な交流は無いが地域の公園や、近隣施設、公共の場への外出を積極的に行っている 	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基幹センターが実施している研修には参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後情報を積極的に獲得し、より参加できる様にしていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎時、連絡帳、電話対応等で行っている 	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別での相談は受けているが研修の機会を設けるには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在居宅訪問で状況を確認し家庭での対応をどうしていくか検討中 	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・契約前の見学時には暖母の支援プログラムの内容に触れながら話をしている。 ・契約時には「契約書」「重要事項説明書」「同意書」に沿って話をするなかで運営規定にも触れながら説明をしている。 ・利用者負担額に関しては「給付費受領のお知らせ」で説明をしている。 	・運営規定・支援プログラム・利用者負担額に関しては継続的に繰り返し説明する機会を今後検討していく
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談で意向等を確認している ・送迎時や連絡帳でのコメントに対し適宜放課後等デイサービスとして必要なサポートや必要な説明を行い、適切な関係機関に繋げる等対応している。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・定期的な面談での説明を行っている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・定期的な面談以外でも必要だと判断した際は適宜面談を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		・定期的に保護者参加の企画実施している	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか直接苦情を受ける機会がない為、関係機関からの情報も聞くようにしている。 ・情報を得た場合には迅速に事実確認を行い対応する様に心がけている 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・毎月暖母だよりの配布、定期的なインスタ発信、HPでの発信をしている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・保護者の方々の状況に合わせた情報伝達を心がけている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4		・近隣の情報を収集しながらどんなことができるのか検討していく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			・マニュアルをどのように周知するのか、具体的に計画していく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・委員会活動をベースに適宜研修を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・契約時以降は変更等の情報収集を日々行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・保護者の申告で対応している	・今後の対応を検討する
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			・より理解を深めるための事業所内での周知徹底を行う
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・年間計画に盛り込み実施している	
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・日々のMTで共有し対応を周知徹底している		

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の研修を実施 ・日々のMTでテーマになることが定着している 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の研修を実施 ・日々のMTでテーマになることが定着している 	